

2024（令和6）年度 ファミリーソーシャルワーク研修会 開催要綱

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院

1. 趣 旨

【本研修会の背景】

親子・子どもを取り巻く社会の変化、支援内容の変化に対応し、改正児童福祉法、次期都道府県社会的養育推進計画の動きもふまえた支援を実現するために、社会的養護施設等に配置されるファミリーソーシャルワーカーはもちろん、関係職員すべてに対して、入所児童とその家族への支援だけでなく、社会的養護施設等関係機関と連携しながら、必要な養育・支援につながっていない子育て家庭が抱える、幅広い課題に対応できる力が求められています。

【本研修会の目的】

本研修会では、改正児童福祉法や推進計画等で社会的養護施設等関係機関に求められる支援機能と各地における実践を学ぶとともに、職員の専門性を高め、多様な課題や背景を抱える子どもとその家族への支援方法について学びます。

2. 研修日程・定員・申込締切

【研修日程①】 2024年9月10日（火）～9月11日（水） 定員 200名

【研修日程②】 2024年10月6日（日）～10月7日（月） 定員 200名

【研修日程③】 2024年12月4日（水）～12月5日（木） 定員 200名

第一次締切：8月9日（金）

※定員に達した場合は、先着順とさせていただきます。

※多くの方にご参加いただけるよう、おひとりにつき1日程の申込をお願いいたします。

※8月9日以降は申込数の状況で受付を行います。

※詳細は中央福祉学院ホームページにて随時お知らせいたします。

3. 会 場

中央福祉学院（ロフォス湘南）

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

4. 参加対象

家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、母子支援員、少年指導員、家族（保護者）支援に携わる児童福祉施設職員や関係機関職員、里親、ファミリーホーム養育者・補助者 等

5. 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

6. 共 催

全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会

7. 後援（予定）

公益財団法人全国里親会、全国児童家庭支援センター協議会、
全国児童自立支援施設協議会、全国児童心理治療施設協議会、
全国自立援助ホーム協議会、日本ファミリーホーム協議会

本研修は、都道府県により社会的養護処遇改善加算対象研修となっています。

詳細は、施設所在地の都道府県担当課に確認ください。

8. 受講料 19,800円(税込) ※旅費・宿泊費・食事代は別途
9. 修了証明書 本研修会(研修日程①～③のいずれか2日間)を受講した方には、研修終了時に、修了証書を発行します。

10. 申込方法など

- 中央福祉学院ホームページ内、「ファミリーソーシャルワーク研修会」からお申し込みください。

<https://www.gakuin.gr.jp/training/fsw>



- 申込が完了した場合、自動配信にて申込完了メールが配信されます。お使いのパソコン等でセキュリティのため受信拒否設定をされている方は、「forms-receipts-noreply@google.com」(Google フォーム)からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。

11. プログラム

第1日

時間	内容
12:00～13:00	受付
13:00～13:10	■開会・オリエンテーション
13:10～14:10 (60分)	<p>■オープニングレクチャー</p> <p>「私たちが取り組むべきソーシャルワークとは～国・対象者の動向をふまえて～」</p> <p>・子育て世帯の変化や多様化する課題に対し、改正児童福祉法や推進計画が示す取り組みを通じ、関係機関・職員がもつべき視点について学びます。</p> <p>〔講師〕 <u>【研修日程①(9月10日)、③(12月4日)】</u></p> <p>・河尻 恵 氏(日本福祉大学 教授)</p> <p><u>【研修日程②(10月6日)】</u></p> <p>・澁谷 昌史 氏(関東学院大学 教授)</p>
14:10～14:20	休憩
14:20～17:00 (140分) ※休憩 20分	<p>■シンポジウム</p> <p>「多様な養育・支援を展開できるファミリーソーシャルワークの実現をめざして」</p> <p>・改正児童福祉法や社会的養育推進計画のなかで打ち出された事業等について特にソーシャルワーカーとして身につけるべき視点について検討します。</p> <p>〔登壇者〕 <u>【研修日程①(9月10日)】</u></p> <p>【進行】 ・河尻 恵 氏(日本福祉大学 教授)</p> <p>【シンポジスト】・第2日分科会にご登壇いただく講師3名</p> <p><u>【研修日程②(10月6日)】</u></p> <p>【進行】 ・澁谷 昌史 氏(関東学院大学 教授)</p> <p>【シンポジスト】・第2日分科会にご登壇いただく講師3名</p> <p><u>【研修日程③(12月4日)】</u></p> <p>【進行】 ・河尻 恵 氏(日本福祉大学 教授)</p> <p>【シンポジスト】・第2日分科会にご登壇いただく講師3名</p>
17:00	第1日終了

※17:30より、当日の夕食を兼ねた参加者どうしの交流会を開催します。(希望者のみ、費用別途。詳細は中央福祉学院ホームページ内、「ファミリーソーシャルワーク研修会」のページをご確認ください)

【研修日程①】2024年9月11日（水）

午前 09:30～12:00 (150分) 午後 13:00～15:30 (150分) 計300分	<p><第1分科会>「子どもの声を聞けるソーシャルワーカーとなるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見表明等支援員が配置される等、職員一人ひとりが子どもの権利擁護について考え、実践することが今後さらに求められます。アドボカシーを実現する職員となるためのソーシャルワークを学び、実践につなげます。 <p>[講師] ・調整中 [実践報告] ・調整中</p>
	<p><第2分科会>「切れ目のない支援を支えるソーシャルワーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> 切れ目のない支援を実現するため、とくに産前・産後からの支援を中心に関係者が持つべき視点を身につけるとともに、実践報告等を通して全国の取り組みを学びます。 <p>[講師] ・中島 尚美 氏（大阪公立大学大学院 特任准教授） [実践報告] ・母子生活支援施設 サン・フラワー華陽（岐阜県） ・全国妊娠 SOS ネットワーク 特定非営利法人 MC サポートセンターみっくみえ（三重県）</p>
	<p><第3分科会>「当事者が求めるアフターケアの実践をめざして」</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設等の退所、施設間移行に係る幅広い視野をもつとともに、対象者が本当に必要とする支援とは何かを考えます。あわせて支援者としてアフターケアを考え、実践するために必要なソーシャルワーク力を学びます。 <p>[講師] ・谷口 由希子 氏（名古屋市立大学 准教授） [実践報告] ・乳児院 かのや乳児院（鹿児島県） ・他調整中</p>

【研修日程②】2024年10月7日（月）

午前 09:30～12:00 (150分) 午後 13:00～15:30 (150分) 計300分	<p><第1分科会>「里親支援のこれから」</p> <ul style="list-style-type: none"> 里親支援センターの設置による関係機関の連携体制を検討し、里親支援専門相談員の業務重点化を見ずえて、社会的養護施設関係者による里親支援のあり方を検討します。 <p>[講師] ・渡邊 守 氏（NPO 法人キーアセット 代表理事） [実践報告] ・里親支援機関 OHANA（福岡県） ・他調整中</p>
	<p><第2分科会>「子どもの声を聞けるソーシャルワーカーとなるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見表明等支援員が配置される等、職員一人ひとりが子どもの権利擁護について考え、実践することが今後さらに求められます。アドボカシーを実現する職員となるためのソーシャルワークを学び、実践につなげます。 <p>[講師] ・栄留 里美 氏（西南学院大学 准教授） [実践報告] ・他調整中</p>
	<p><第3分科会>「地域と連携したソーシャルワークの実践」</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅支援、地域支援への取り組みが求められてきているなかで、地域、他機関と連携しながら施設の多機能化をめざす方策を検討します。 <p>[講師] ・河野 洋子 氏（特定非営利活動法人 chields 代表理事／大分大学福祉健康科学部 講師） [実践報告] ・児童家庭支援センターオリーブの木（熊本県） ・大関 晃一 氏（神奈川県社会福祉協議会福祉サービス推進部 福祉サービス推進課 課長）</p>

【研修日程③】2024年12月5日（木）

午前 09:30～12:00 (150分) 午後 13:00～15:30 (150分) 計300分	<第1分科会> 「里親支援のこれから」 ・里親支援センターの設置による関係機関の連携体制を検討し、里親支援専門相談員の業務重点化を見ずえて、社会的養護施設関係者による里親支援のあり方を検討します。 〔講師〕 ・渡邊 守 氏 (NPO 法人キーアセット 代表理事) 〔実践報告〕 ・里親支援機関 OHANA (福岡県) ・他調整中
	<第2分科会> 「親子関係（再）構築のために必要な支援とは」 ・親子関係形成支援事業を運用するなかで必要な支援を行うために、アセスメントから支援を組み立てる展開方法に加えて、愛着の視点や施設連携・チーム養育を学びます。 〔講師〕 ・志村 浩二 氏 (浜松学院大学短期大学部 幼児教育科長 (兼) 子どもの未来創造センター長・教授) 〔実践報告〕 ・母子生活支援施設 大田区立ひまわり苑 (東京都) ・他調整中
	<第3分科会> 「切れ目のない支援を支えるソーシャルワーク」 ・とくに産前・産後からの支援を中心に関係者がもつべき視点を身につけるとともに、実践報告等を通して全国の取り組みを学び、切れ目のない支援を実現する方法を検討します。 〔講師〕 ・岡田 多恵子 氏 (全国社会福祉協議会中央福祉学院 准教授) 〔実践報告〕 ・母子生活支援施設 サン・フラワー華陽 (岐阜県) ・社会的養護自立支援拠点事業所 クオーラ (宮崎県)

12. 研修期間中の宿泊・食事・交流会申込

宿泊等案内は中央福祉学院ホームページ内、「ファミリーソーシャルワーク研修会」のページでご案内しています。宿泊施設（ロフォス湘南等）・食事（交流会含む）を希望の方は期日までにお申込みください。

13. 入金後の参加費の取扱い

研修会参加費は、ご入金後はキャンセルによる返金はいたしかねます。資料の送付をもって対応いたします。

14. 申込・問い合わせ先

[研修内容・研修参加申込に関するお問い合わせ先]

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 ファミリーソーシャルワーク研修係

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

TEL 046-858-1355 FAX 046-858-1356 MAIL fsw@shakyo.or.jp

詳細を記載した開催要綱は中央福祉学院ホームページに掲載しています。

そちらもぜひご確認ください！

ファミリーソーシャルワーク研修会 HP
<https://www.gakuin.gr.jp/training/fsw>

